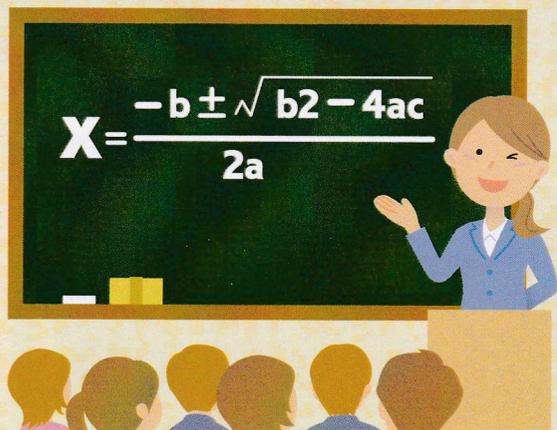


8月27日の懇談会において活発な意見が出ました。
その内容を皆様にお知らせいたします。

井荻中学校の現状

- ◆井荻中の学校運営については、教員・保護者共良く整理された運営だと思う。
- ◆教材研究のための時間が不足している。
- ◆井荻中は保護者や地域の方から助けていただいている。大変有難く思っている。
- ◆学校は開かれているように見えて開かれていないようだ。保護者にとって居心地が悪い場所のようだ。働き方改革は保護者にとって必ずしも身近な問題ではないので、協力は難しいのではないかと。
- ◆部活動の指導、特に経験のない部の指導は大変だ。
- ◆教員数が足りない
- ◆働き方改革について、負担があると感じている先生がいるが、負担と感じていない先生もいる。
- ◆部活の活性化事業は体験してみると生徒も保護者も満足する。但し先生が部活の専門性を持っている場合は必要ではない。
- ◆学校の仕事と先生のプライベートの部分や時間を保護者は知らなすぎる。
- ◆先生の業務の広がり（覚悟）の上で教員となったのではないかと。
- ◆教員は聖職、人を育成する仕事である。



今現在 やっていること

学校支援本部

- ◆英検・漢検の実施
- ◆文化発表会・土曜授業の受付
- ◆図書館サポート(蔵書点検・ディスプレイなど)
- ◆ゲストティーチャー手配

地域の方々

- ◆生徒のボランティア活動の見守り
- ◆授業のお手伝い(職場体験等)
- ◆学校支援本部の依頼によるボランティア

保護者

- ◆入学式・卒業式・体育祭等の受付
- ◆体育祭の自転車整理・誘導
- ◆地域のお祭りなどのパトロール
- ◆部活動の世話人・立会い



学校運営協議会

- ◆学校が作成する運営に関する基本方針の承認
- ◆学校運営に関する意見の申出
- ◆教職員の任用に関する意見の申出
- ◆学校運営状況の評価
- ◆保護者などの意見の把握
- ◆ゲストティーチャーの手配・参加



学校運営協議会が考える 井荻中の先生方の負担を 少なくするには・・・

- 保護者や地域の方々の意見を取り入れより良い学校運営に繋げていく。
- 学校や先生方の日頃の様子を運営協議会だよりなどで伝える。
- 効率のよい仕事をするには予算面での考慮等要望を出す。
- 欠席の連絡をメールなどICT化できないが、でもその前提として連絡を必ず入れるなど保護者の協力が必要と感じる。
- 人員が足りていないので区への働き掛けが必要。

